



▲協定締結後に握手を交わす吉永代表取締役(右)と安田市長(中央)、高口局長(左)

資源循環型のまちづくりを目ざして

市有地を活用してメガソーラー発電所を設置

市では6月から7月にかけて、楠浦町にある市有地約3.5ヘクタールを活用したメガソーラー(大規模太陽光)発電所の設置事業者を募集し、応募があった県内外8事業者の中から共栄建設株式会社(天草市)に決定しました。

8月16日には、市役所本庁で同社の吉永一郎・代表取締役と安田市長、高口義幸・県商工観光労働部新産業振興局長が出席して、発電所建設事業に関する協定を締結。安田市長は、「資源循環型のまちづくりを目ざしたい」と話し、吉永社長は「地域のために貢献したい」と述べられました。

同発電所は9月に着工。太陽光パネル約7,000枚を設置し、年間の発電量は一般家庭の約560世帯が1年間に使用する、約207万キロワット時とする計画。来年1月から発電が始まる予定です。

▶メガソーラー発電所の建設地(枠線部分)



市チームが強さを発揮

熊本県子ども会連合会球技大会

8月19日、「熊本県子ども会連合会球技大会」が山鹿市の菊鹿運動広場を主会場に開かれ、市代表としてソフトボール競技に出場した岡東子ども会(牛深町)が優勝、鬼塚子ども会(同)が準優勝、ビーチボールバレー競技に出場した茂串子ども会(同)が優勝、久玉子ども会(久玉町)が3位に入り、市チームが強さを発揮しました。大会は、青少年の健全育成を目的に毎年開催。今回は、県内の各郡市から合計26チーム・328人が参加しました。



▲競技のようす



▲表彰を受ける岡田さんご夫婦

これからも元気で仲良く

金婚夫婦表彰

9月9日、有明町下津浦地区の第54回熊日金婚夫婦表彰伝達式が下津浦公民館で行われ、地区在住の金婚ご夫婦4組が表彰を受けられました。これは、同日に開かれた下津浦地区振興会主催の敬老会の席上で実施。熊本日日新聞社から表彰状と記念品が、市から夫婦湯のみなどが贈られました。表彰を受けた岡田幸男さん・スミカさんご夫婦は、「今後も仲良くやっていきます」と笑顔で話されました。なお、本市では今年、243組のご夫婦が金婚を迎えられました。

異国の文化に触れ交流を深める

市と韓国・忠清大学との交流

人材育成や学術・文化交流などの官学共同に関する協定を結んでいる市と韓国・忠清大学は、7・8月にそれぞれ交流団を派遣しました。

7月19日から同22日にかけては、韓国・忠清大学の学生ら9人が本市を訪問。期間中はホストファミリー宅に滞在しながら、五和町二江沖でのイルカウォッチングや、天草文化交流館で陶芸づくりを体験しました。

また、8月9日から同13日にかけては、本市から8人が同大学がある清州市を訪れホームステイを実施。市周辺の史跡などを視察したほか、ホストファミリー宅に滞在し交流を深めました。参加者は、「これまでは観光でしか訪れなかった韓国の家庭生活を体験でき、すばらしい経験になりました」と話していました。



▲本市から参加した8人(前列)がホストファミリーの皆さん(後列)と記念の1枚



◀天草文化交流館で陶芸づくりを体験する忠清大学の学生

とだえていた盆踊りが復活!

河浦大夏祭り

8月25日、「河浦大夏祭り」が河浦総合運動場で開かれ、約700人が来場しました。これは、町内の若者らで今年3月に結成した河浦青年同志会(下田貴久会長・会員22人)が、子どものころににぎわっていた盆踊りを復活させることで、地域を元気にしようと開催したものです。祭りでは、スイカの早食い競争や歌手によるライブのほか、河浦高校と河浦中学校の吹奏楽部が演奏を披露。また、同会が特産のデコポンにちなんで企画・制作したご当地ヒーロー“河浦戦隊デコポンジャー”も登場し、会場は大いににぎわいを見せていました。



▲ポーズを決める“河浦戦隊デコポンジャー”

明治初期の暮らしを体験

寺子屋体験学習

8月18・19日、栖本小学校の6年生22人が、栖本町の西真寺で1泊2日の「寺子屋体験学習」を行いました。これは、明治初期の寺子屋を再現して当時の暮らしに触れてもらおうと、市青年団栖本支部と栖本公民館が毎年実施しているもの。かすりとはかまに身を包んだ児童たちは、同支部の団員や地区住民の手ほどきを受けながら、竹製の水鉄砲作りや川遊びなどを体験。ふだんはできない貴重な経験を満喫していました。



▲川遊びで投網をする児童